

令和7年1月31日（金）

第5回高槻市学校教育審議会 資料



これからの社会に求められる教育



概要版

第2期

高槻市 教育振興基本計画

令和3(2021)年度～令和12(2030)年度

多様な人々と協働しながら、一人一人が活躍し、
安全で安心して豊かに暮らせる社会をめざして



令和3(2021)年3月

高槻市教育委員会
Takatsuki City Board of Education

高槻の教育がめざす社会像

多様な人々と協働しながら、
一人一人が活躍し、
安全で安心して豊かに暮らせる社会

高槻の教育がめざす子ども像

人や社会とつながり、学び続け、
よりよい自分と社会を創る子ども



第4期教育振興基本計画 (令和5年6月閣議決定)

政府が策定する教育に関する
総合計画として、今後5年間の
国の教育政策全体の方向性や
目標、施策などを定めている

2つのコンセプト

持続可能な社会の 創り手の育成

- 将来の予測が困難な時代に、未来に向けて自らが社会の創り手となり、持続可能な社会を維持・発展させていく人材を育てる
- 主体性、リーダーシップ、創造力、課題設定・解決能力、論理的思考力、表現力、チームワークなどを備えた人材の育成

日本社会に根差した ウェルビーイングの向上

- 多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、教育を通じてウェルビーイングを向上
- 幸福感、学校や地域でのつながり、協働性、利他性、多様性への理解、社会貢献意識、自己肯定感、自己実現等を調和的・一体的に育む

5つの基本的な方針



教育に関連する
ウェルビーイング
の要素

自己肯定感

心身の健康

幸福感

・現在と将来
・自分と周りの他者

協働性

社会貢献
意識

学校や地域
でのつながり

自己実現

・達成感
・キャリア意識 等

安全安心な
環境

多様性への
理解

利他性

サポートを
受けられる環境

教育活動全体を通じたウェルビーイングの向上

各要素を育む
教育活動の例

個別最適な学びと
協働的な学びの一体的充実

ー子供たちの多様な状況に応じた
学習者主体の学び、多様な他者と
協働した学び
ーきめ細やかな指導を通じた
確かな学力の育成



多様な教育ニーズへの対応と
社会的包摂による共生社会の
実現に向けた学び・生徒指導

ー特別支援教育、
いじめ・不登校対応 等



地域や家庭で共に学び合う
環境整備

ーコミュニティ・スクールと地域学校
協働活動の一体的推進
ー社会教育を通じた
地域コミュニティ形成



キャリア教育・職業教育、
課題解決型学習

ー社会的・職業的自立に
向けたキャリア発達
ー地域や社会の
課題解決型学習



豊かな心・健やかな体の
育成、安全・安心

ー道徳教育、体験活動、
学校保健の推進
ー学校施設の整備、
学校安全の推進



グローバル社会における
国際交流活動

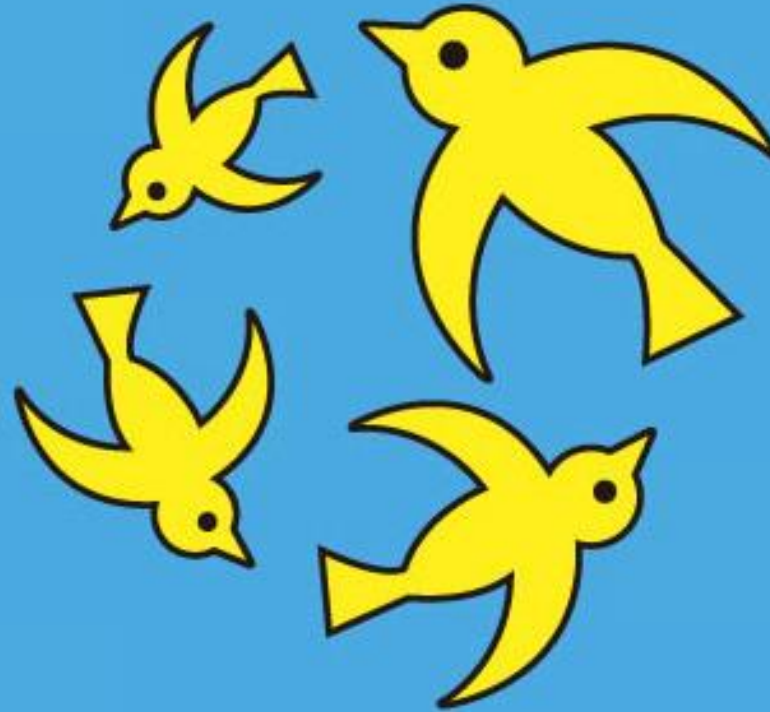
ー海外留学推進、
外国人留学生受入れ
ー地域社会の国際化、
多文化共生



→ 公正・公平な共生社会の形成に参画する力
を

子供の未来を支える皆さまと共有したい

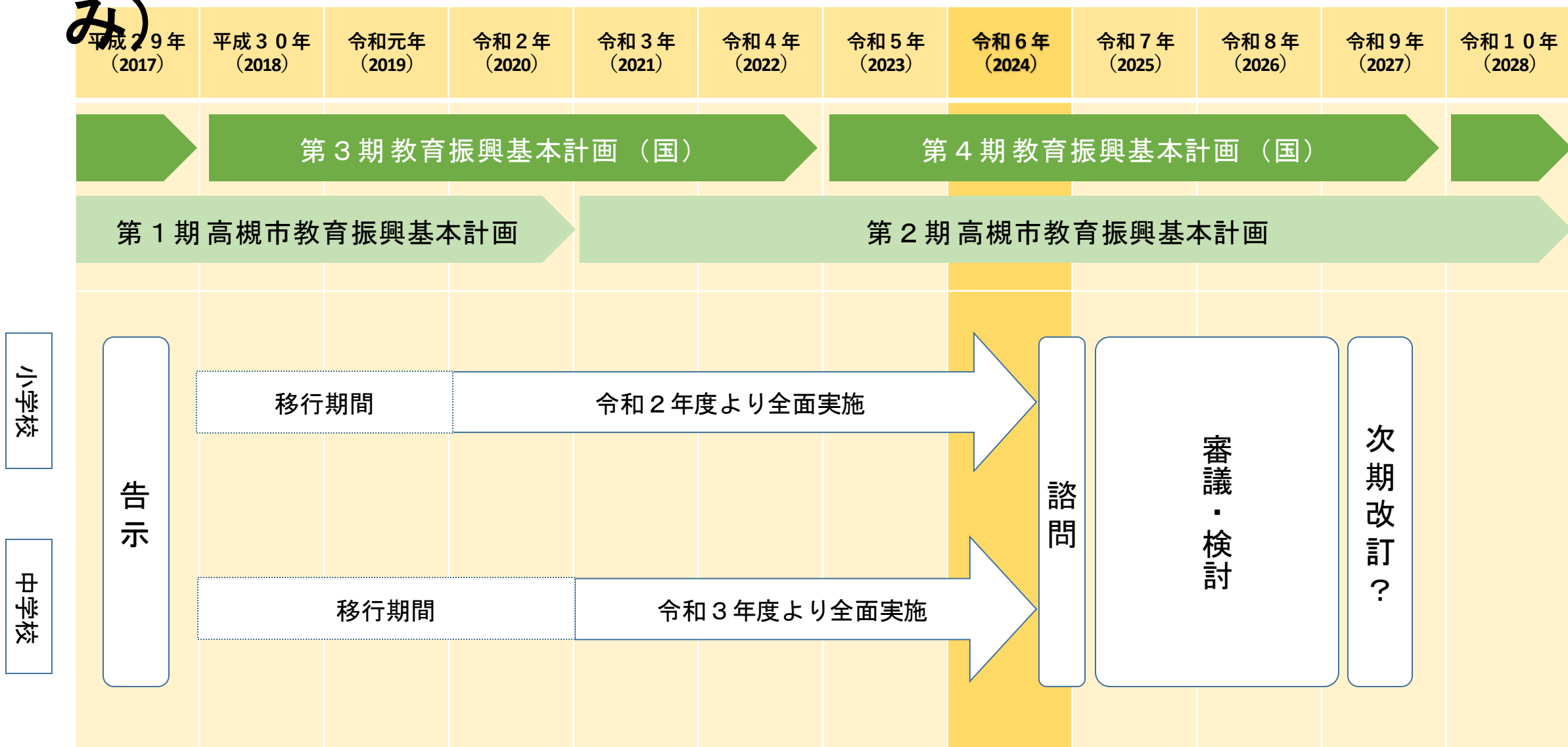
学習指導要領



生きる力 学びの、その先へ

これからの社会の変化を見据えた
教育課程編成の基準

学習指導要領の改訂スケジュール（見込み）



目指すべき義務教育・学校教育の姿及び取組の方向性

1 義務教育の中核としての学校教育の役割

学校教育の重要な役割は、学力を育むこと＋人間性を涵養すること



社会の分断や格差を防ぎ、民主的で公正な社会を形成する基盤としての学校こそが、引き続き義務教育の中核を担うべき

2 公教育としての共通性の担保と多様性の包摂

共通性を担保しつつ個々の「良さを徹底的に伸ばす」学校教育



子供たちが安心して学び、ウェルビーイングを実現できる場所に

不登校児童生徒の状況に応じた学びの多様化に資する環境整備

3 児童生徒と教師が集う場としての価値最大化

児童生徒と教師が集い、共に学び、生活し、成長する中で、民主的で公正な社会を実現する場としての学校の価値を最大化



児童生徒や教師が共に学ぶ「魅力ある学校づくり・授業づくり」

4 生涯学習社会を生き抜く自立した学習者の育成

多様性を包摂する柔軟な教育課程の編成・実施



学びの主導権を子供たちに委ね、子供たちが学びを「自分事」として捉え、自発的に他者と関わりながら学びを深めていく学習活動

5 義務教育の目的を達成するための創意工夫の発揮

児童生徒と教師の触れ合いによる生き生きとした教育の働きの発揮



それぞれの状況に応じて、学校現場において創意工夫を凝らした教育活動が展開できる環境整備を推進

6 公教育を支える学習基盤に係る一体的な検討・充実

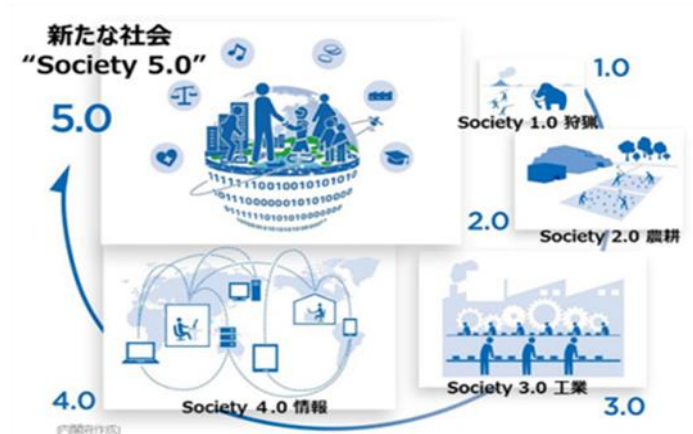
教師のウェルビーイングを確保しつつ、現場の創意工夫を引き出し、子供たちの学習意欲や創造性を育むものとしての学習基盤の充実



次期学習指導要領の改訂の検討と相互に連動させながら推進

激しい変化が止まらない時代を生きてい

Society5.0

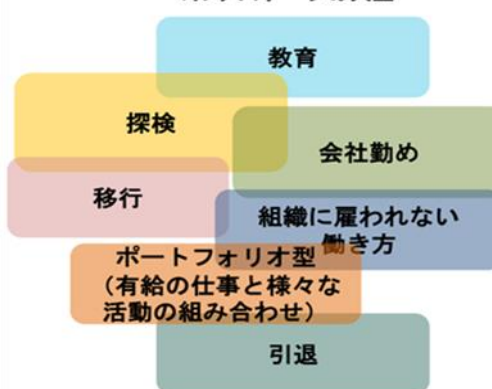


人生100年時代

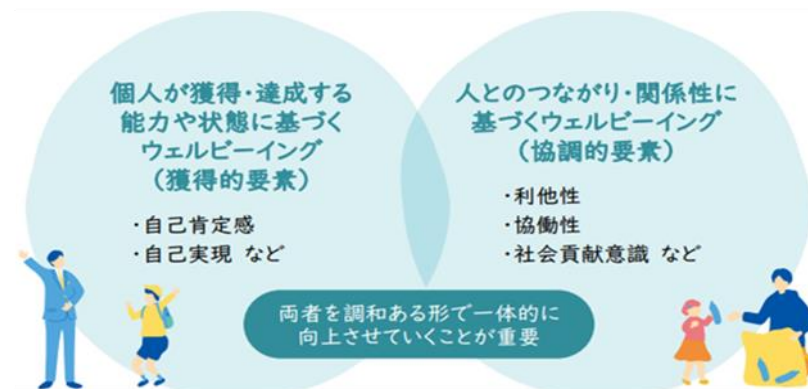
3ステージのモデル



マルチステージの人生



「ウェルビーイング」の在り方



【出典】文部科学省「教育振興基本計画（リーフレット）」



【出典】内閣府 (https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/society5_0.pdf)

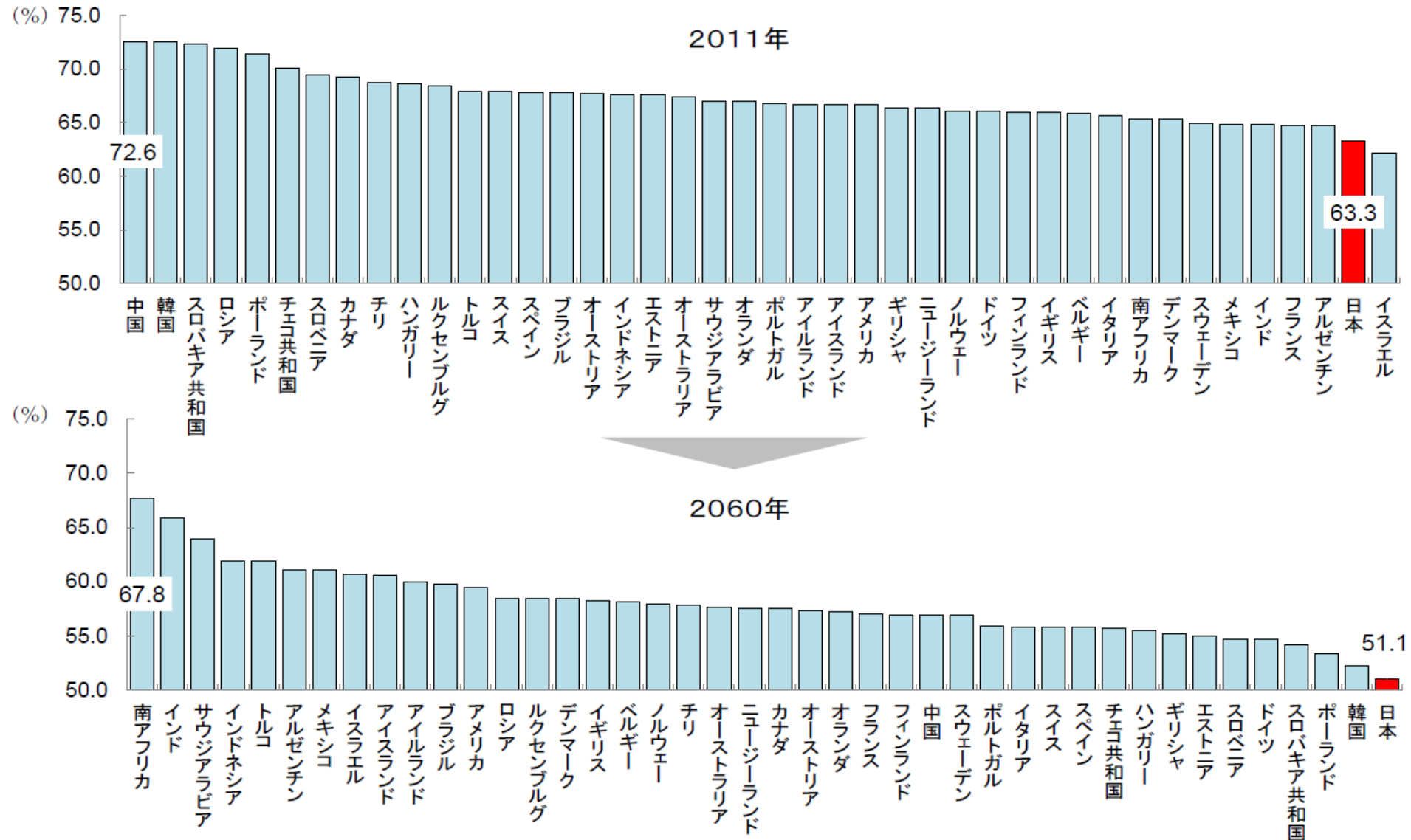
【出典】人生100年時代構想会議
リンダ・グラットン氏提出資料(仮訳)(抜粋)



【出典】国例連合広報センターHP (https://www.unic.or.jp/files/sdg_poster_ja_2021.pdf)

OECD加盟国の生産年齢人口の将来予測

◆ OECDの予測では、2060年には日本の生産年齢人口が51.1%にまで減少し、OECD加盟国中最下位になる。



【出典】OECD「Looking to 2060 : Long-term global growth prospects」をもとに作成

子供の人口の将来推計

◆ 国立社会保障・人口問題研究所の予測では、19歳以下の人口は2045年には1,500万人を下回り、2070年には約1,100万人となる。



※推計値は出生中位(死亡中位)推計による。

各年10月1日現在の総人口(日本における外国人を含む): 令和2年(2020)年は、総務省統計局『令和2年国勢調査 参考表: 不詳補完結果』による。

【出典】国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」をもとに作成

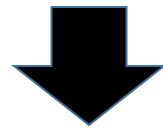
これから求められる人材像

「常識や前提にとらわれず、ゼロからイチを生み出す能力」

「夢中を手放さず一つのことを掘り下げていく姿勢」

「グローバルな社会課題を解決する意欲」

「多様性を受容し他者と協働する能力」



時代の変化を察知し、

能力やスキルを絶えず更新し続け、

今後加速する社会の変化に適応する必要がある

これから求められる人材像

豊かな発想や専門性を身に付け、多様な他者と協働しながら、新たな価値やビジョンを創造し、社会課題や生活課題に「新しい解」を生み出せる人材

そうした人材は、「育てられる」のではなく、
ある一定の学習環境の中で「自ら育つ」という視点が重要となる。

社会の変化に応じて、求められる能力も変化

先行研究における意識・行動面を含めた仕事に必要な能力等

2015年
注意深さ・ミスがないこと
責任感・まじめさ
信頼感・誠実さ
基本機能（読み、書き、計算、等）
スピード
柔軟性
社会常識・マナー
粘り強さ
基盤スキル
意欲 積極性
:



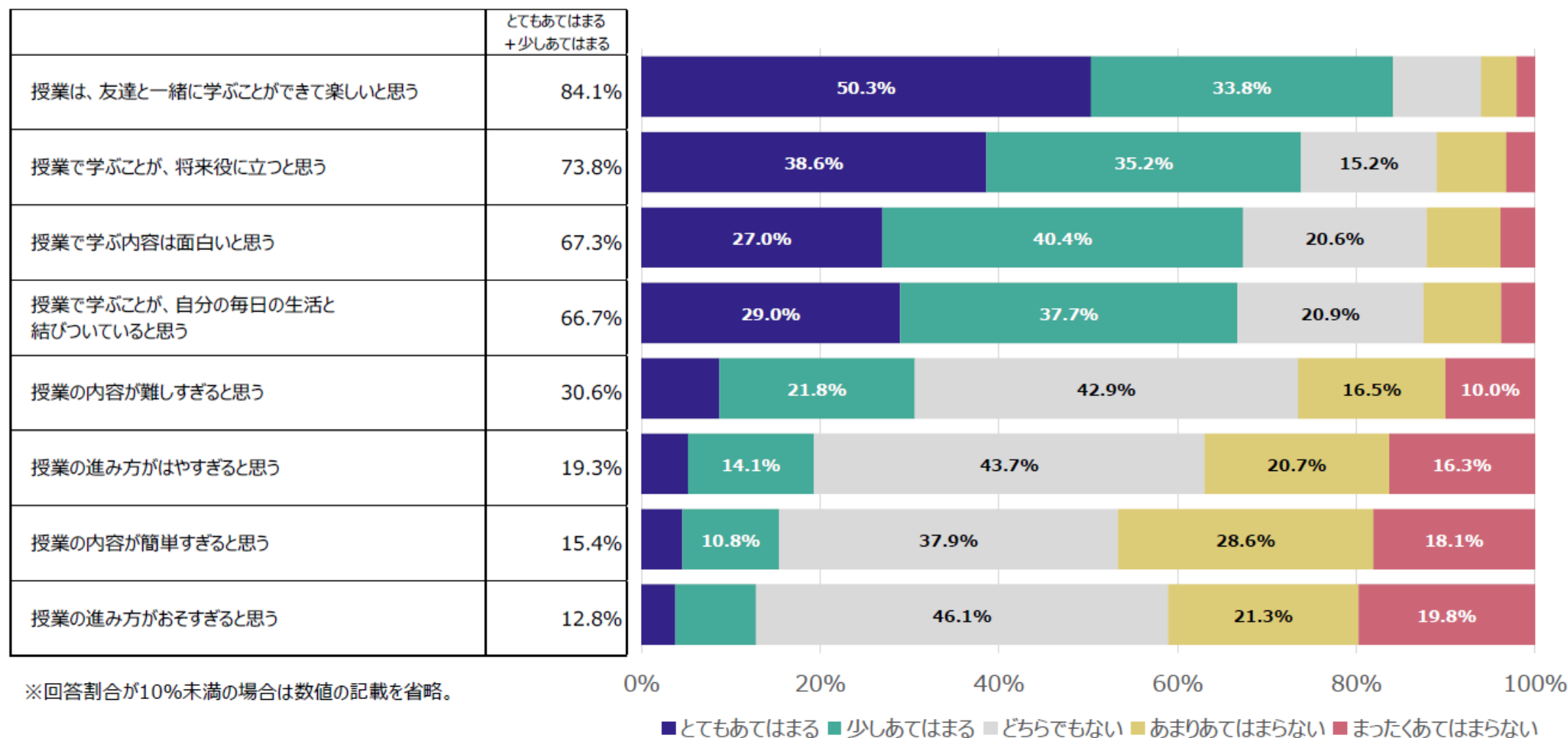
2050年
問題発見力
的確な予測
革新性
的確な決定
情報収集
客観視
コンピュータスキル
言語スキル：口頭
科学・技術
柔軟性
:

2040年のあるべき教育システムを実現するためには、
2030年代の教育が変わる必要がある。

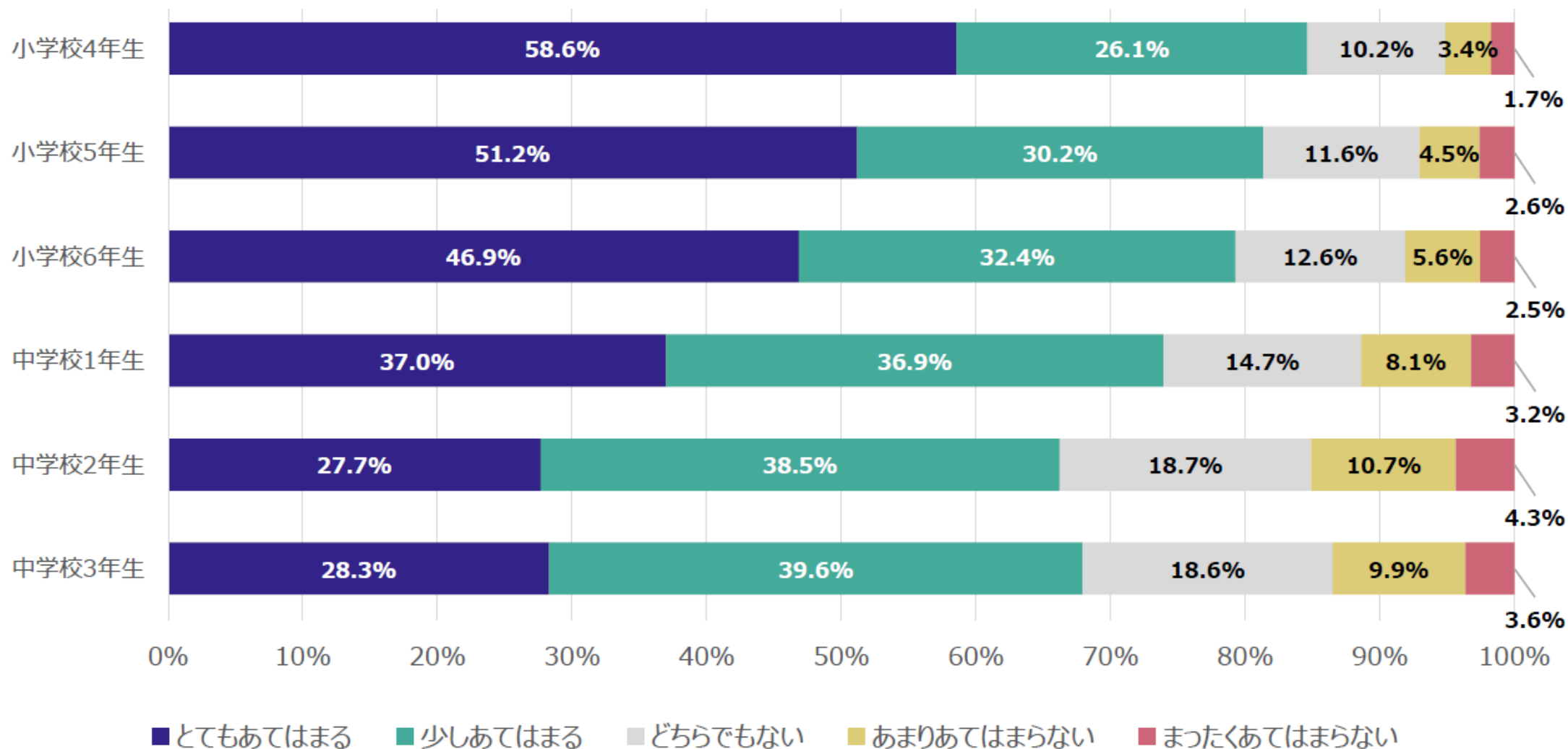
その枠組みを変えるには
2020年代に大きな変化を起こす必要がある

学校で受けている授業に関して思うこと

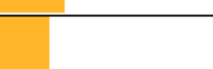
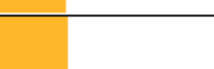
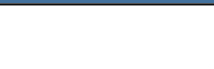
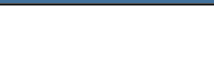
(1) あなたが普段学校で受けている授業に関して思うことについて、それぞれあてはまるものを1つ選んでください。



授業で学ぶことが、将来役に立つと思う



学校で勉強する目的

	児童生徒（全体）		小学校高学年		中学生	
将来の進学や仕事に役立つから		63.2%		62.1%		63.8%
<u>これまでできなかった（わからなかった）ことをできる（わかる）ようにになりたいから</u>		57.7%		69.0%		51.4%
良い成績を取りたいから		53.2%		53.9%		52.9%
<u>新しいことを知りたいから</u>		53.2%		65.9%		46.2%
将来かなえたい夢や決めている目標があり、それを実現したいから		46.1%		51.2%		43.2%
自分の興味や関心があることを深めたいから		44.2%		46.5%		42.9%
<u>勉強したことがふだんの生活や社会に出て役立つから</u>		42.8%		55.7%		35.6%
<u>友達と話し合うことで、いろいろな考え方に気づいたり、自分の考えを見直したりしたいから</u>		40.6%		58.9%		30.5%
学校で勉強するのが当たり前だから		36.5%		34.7%		37.5%
<u>勉強することはおもしろいと思うから</u>		22.5%		29.7%		18.4%
先生や家の人がほめてくれるから		20.9%		26.9%		17.6%
家の人に勉強しなさいと言われるから		16.6%		13.6%		18.2%
考えたことがない		10.7%		10.0%		11.0%

義務教育修了時に身に付けておくべき能力・態度、学校生活を通じて身に付けたいこと

	教師	児童生徒	Webモニター
基礎的・基本的な知識・技能	73.4%	72.9%	72.9%
自ら判断する力	45.4%	66.4%	61.5%
失敗を恐れず挑戦する力	22.5%	59.2%	27.1%
相手に伝わるように自分の考えを表現する力	44.5%	57.8%	38.3%
自ら学ぼうとする意欲 (自ら学ぶ力)	37.4%	55.5%	44.5%
他者の大切さを認め、多様な意見や考えを尊重する力 (友達の大切さを認め、多様な意見や考えを尊重する力)	44.5%	55.0%	31.5%
社会生活に必要な常識やきまりを守る力	36.5%	51.5%	39.8%
新しいものや考えを生み出す創造的な力	7.1%	48.8%	14.8%
ものごとをやりとげるねばり強さ	26.7%	48.6%	24.3%
自分の良さを生かし、他者と協力して取り組む力	28.8%	46.6%	20.0%
ものごとに見通しをもって計画的に取り組む力	12.0%	46.6%	13.0%
自分の生き方や進路について考える力	10.6%	43.4%	12.5%
求められることを正確に行う力 (言われたことを正確に行う力)	2.6%	43.3%	8.9%
情報等を活用し、多様な観点から論理的に考える力 (自ら論理的に考える力)	19.6%	41.1%	21.7%
自分が困ったときに他者に助けを求める力 (自分が困ったときに他の人に助けを求める力)	26.9%	40.4%	19.5%
自分には良さがあると認める力	36.1%	35.2%	26.7%
集団の中で意見をまとめていくリーダーシップ	2.0%	33.2%	6.9%
1人1台端末(タブレットなど)を活用する力 (1人1台端末(タブレットなど)を学習等で活用する力)	1.6%	31.2%	4.4%
他者との衝突を避け、調和を重んじる力	6.1%		11.8%

主体的な学び

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる

対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める

深い学び

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう

主体的・対話的で深い学び

学習指導要領 総則 第3 教育課程の実施と学習評価

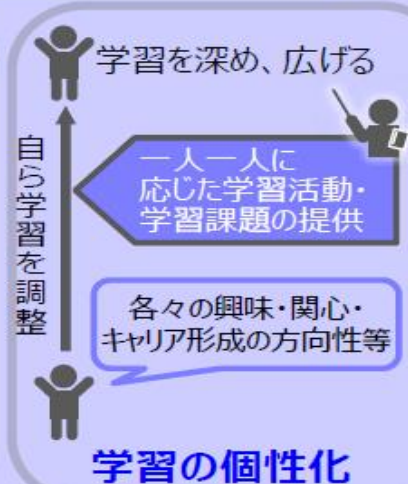
29 学習指導要領 総則 第4 児童(生徒)の発達の支援

授業改善

一体的に
充実

授業外の
学習の改善

資質・能力の育成



個別最適な学び (教師視点では「個に応じた指導」)

修得主義 個々人の学習状況に応じて学習内容を提供・一定の期間における個々人の学習の状況・成果を重視の考え方を生かす

異なる考え方が組み合わせりよりよい学びを生み出す



協働的な学び



履修主義 一定の期間の中で個々人の多様な成長を包含の考え方を生かす

これからの学校には……一人一人の児童(生徒)が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる。

平成29,30年改訂
学習指導要領 前文

自己実現とよりよい社会をつなぐ

【各資料における「資質・能力」】

